



幕監査第101号
令和2年8月26日

幕別町長 飯田 晴義 様

幕別町監査委員 八重柏 新 治



幕別町監査委員 藤谷 謹 至



令和元年度幕別町基金の運用状況審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第241条第5項の規定により審査に付された令和元年度幕別町基金運用状況について審査しましたので、その結果について次のとおり意見を提出します。

令和元年度幕別町基金の運用状況審査意見

第1 審査の概要

1 審査の対象

幕別町各基金の運用状況

2 審査の期間

令和2年7月14日から令和2年8月26日まで

3 審査の手続

審査に付された各基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性、基金運用状況の妥当性の検証を主眼とし、関係帳簿及び関係書類との照合等その他通常実施すべき審査手続を幕別町監査基準に準拠し実施した。

第2 審査の結果

審査に付された各基金の運用状況を示す書類の計数は、関係帳簿等と照合した結果誤りのないものと認められ、また、基金の運用状況は妥当であると認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

当年度の運用の状況は次のとおりである。

区 分		平成30年度末 現在高	令和元年度中		令和元年度末 現在高
			積立額	取崩額	
積立 基金	財政調整基金	1,386,000,000	121,000,000	103,000,000	1,404,000,000
	減債基金	178,000,000	61,000,000	128,000,000	111,000,000
	まちづくり基金	1,387,053,945	197,620,145	226,085,000	1,358,589,090
	森林環境譲与税基金	0	11,323,000	0	11,323,000
	一般会計計	2,951,053,945	390,943,145	457,085,000	2,884,912,090
	国民健康保険基金	160,327,946	68,250,917	0	228,578,863
	介護給付費準備基金	135,058,930	56,304,595	53,500,000	137,863,525
	農業集落排水事業償還基金	13,267,300	1,251	855,506	12,413,045
	積立基金計	3,259,708,121	515,499,908	511,440,506	3,263,767,523
定額運 用基金	土地開発基金	535,928,937	10,423,309	9,991,000	536,361,246
	現金	354,910,327	10,423,309	0	365,333,636
	土地	181,018,610	0	9,991,000	171,027,610
	定額運用基金計	535,928,937	10,423,309	9,991,000	536,361,246
合計	現金	3,614,618,448	525,923,217	511,440,506	3,629,101,159
	土地	181,018,610	0	9,991,000	171,027,610

(注) 決算年度末現在高は、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額133,000,000円を除く。

財政調整基金は、前年度末に比し18,000,000円(1.3%)増加している。これは、121,000,000円の積み立てに対し、103,000,000円の取り崩しがあったことによる。

減債基金は、前年度末に比し67,000,000円(37.6%)減少している。これは、61,000,000円の積み立てに対し、128,000,000の取り崩しがあったことによる。

まちづくり基金は、前年度末に比し28,464,855円(2.1%)減少している。これは、寄付金などにより197,620,145円の積み立てに対し、226,085,000円の取り崩しがあったことによる。

森林環境贈与税基金は、前年度末に比し11,323,000円(皆増)増加している。これは、国から新たに交付された森林環境譲与税により、11,323,000円の積み立てがあったことによる。

国民健康保険基金は、前年度末に比し68,250,917円（42.6%）増加している。これは、68,250,917円の積み立てに対し、取り崩しがなかったことによる。

介護給付費準備基金は、前年度末に比し2,804,595円（2.1%）増加している。これは、56,304,595円の積み立てがあった一方、53,500,000円を取り崩しがあったことによる。

農業集落排水事業償還基金は、前年度末に比し854,255円（6.4%）減少している。これは、1,251円の積み立てがあった一方、855,506円を取り崩しがあったことによる。

土地開発基金は、前年度末に比して432,309円（0.08%）増加している。これは、現金で10,423,309円の積み立てがあった一方、取り崩しがなく、土地では積み立てがなかった一方、9,991,000円を取り崩しがあったことによる。

むすび

一般会計の令和元年度末の基金残高は2,884,912千円で、前年度末に比して66,142千円（2.2%）減少している。これは390,943千円積み立てられた一方、457,085千円を取り崩しがあったためである。

一般会計と特別会計を合わせた当年度決算剰余金で、245,254千円が基金に繰り入れられることになったことは、厳しい財政状況の中であって努力の跡が伺え一定の評価ができる。今後も歳入の確保と経費の節減に努め、基金残高の充実に努められたい。